



ネイチャーセンターだより

2023年2・3月号

新・いきもの図鑑



【参考文献】高野伸二他. 1985. 山溪カラー名鑑日本の野鳥 [特装版]. 山と溪谷社.
中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社.

キバシリ (木走)

スズメサイズの小さな鳥で、キツツキのように木に縦にとまります。その名のとおり、木の幹を下から上へ走るように移動する姿が特徴的です。ピンセットのような細長くちばしをもち、樹皮の間や地衣類の隙間にいる昆虫やクモなどを食べています。

本州以南では亜高山帯の針葉樹林に生息しており、目にする機会が少ない鳥ですが、根室では平地の針葉樹林や落葉広葉樹林にも生息しており、ネイチャーセンターのとなりの東梅自然学習林で姿を見ることがもしばしば。霧が多くて地衣類が発達した林を好むようです。

おなか側は白く目立ちますが、背中中は木肌のような色をしており、これが保護色となって見事に樹皮の色と同化してしまうので、見つけた時に嬉しくなる鳥のひとつです。カラ類の混群に混ざっていることもあります。

「ツイー」という甲高い声も特徴的です。

NEWS

ホオジロが観察されました

1月7日に、ネイチャーセンター観察窓の前に広がる前浜湿地の低木にとまっているホオジロのオスを1羽確認しました。図鑑では、ホオジロは北海道では夏鳥と書かれていますが、根室では冬にまれに観察される冬鳥。国後島では繁殖し、稀に越冬しているようです。ちなみに本州以南では一年中見られ、珍しい鳥ではありません。

根室ではなかなか見られないホオジロですが、2月16日までネイチャーセンターで開催している野鳥図鑑画家・谷口高司さんの作品展でもホオジロの作品を見られます。ぜひネイチャーセンターへお越しください。



写真 前浜湿地で見られたホオジロのオス (2020年1月16日撮影)

2017～2022年の春国岱周辺でのホオジロの記録は以下の通り。

2020年1月16日	5羽	前浜湿地
2020年1月17日	7羽+	前浜湿地
2021年1月10日	3羽	前浜湿地
2021年1月11日	1羽	前浜湿地

【参考文献】河井他. 2013. 新訂北海道野鳥図鑑. 亜璃西社.

見どころMAP

※危険ですので凍結した湖面は歩かないでください



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

2・3月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	2月	○	2月は、風蓮湖内のワシ類の個体数が最も多くなる月で、特に多いのは、中旬頃。3月になると北へ渡り始めるため、個体数が減り始めます。また、一部のオジロワシは、繁殖の準備に入ります。
	3月	○	
タンチョウ	2月	・	2月は、給餌場がある鶴居村などで越冬しているため、春国岱周辺で目にする機会は少ないです。3月上旬頃になると、春国岱に戻ってきて、繁殖の準備に入ります。
	3月	+	
オオハクチョウ	2月	+	2月は、風蓮湖内の凍っていない水面付近や海上で見られることが多いです。3月になると、本州北部などの越冬地から渡ってくるため、個体数が多くなります。
	3月	○	
カモ類	2月	○	2月は、風蓮湖や根室湾でホオジロガモ・ウミアイサ・カワアイサがよく観察できます。また、沖では、クロガモやコオリガモが時々見られます。3月には、南からヒドリガモやオナガガモが渡来します。
	3月	○	
カモメ類	2月	◎	オオセグロカモメ・シロカモメが風蓮湖や根室湾でよく見られ、カモメ・ワシカモメが見られることもあります。
	3月	○	
春国岱	森	2月にはヒガラ、3月下旬にはミソサザイのさえずりが聞こえるようになります。運が良いと、クマガラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られることがあります。	
	草原 湿原 干潟	草地でハギマシコが見られることがあります。ユキホオジロはここ5年ほど記録がありません。湿原や干潟でハマシギが見られることがあります。	
自然学習林	ヒガラ、ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラなどのさえずりが聞こえるようになります。キツキ類(コゲラ・アカゲラ・オオアカゲラ)やキバシリが見られます。		

ネイチャーセンターからのお知らせ

館内電気設備工事のため、下記の通り、春国岱ネイチャーセンターを臨時休館いたします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。なお、休館中も春国岱および東梅自然学習林は通常通り散策可能です。

◆臨時休館◆2月20日(月)・21日(火)※臨時休館日の翌日2月22日(水)と、24日(金)は通常の休館日です。ご注意ください。

1月15日にフィールド講座「春国岱のハマナスは今 —ハマナス群落保全プロジェクトのその後」を実施しました

トピックス

ラムサール条約湿地「風蓮湖・春国岱」の自然や生き物について専門家のお話を聞くフィールド講座。今回は、根室市歴史と自然の資料館学芸員の外山雅大さんに、春国岱の海岸砂丘でハマナス群落をエゾシカの食害から守り回復される活動の成果についてご報告いただきました。

この活動は、外山さんとネイチャーセンターのレンジャーが、かつて日本一と言われた春国岱のハマナス群落がエゾシカに食べられて縮小していることに気づいたことに始まります。根室ワイズユースの会の皆さんの協力も得て2014年にハマナス群落を囲うシカ柵が設置され、以来、ハマナスや周囲の生き物がどう変化してきたかを外山さんが中心になって調査して来ました。お話の前半では、シカ柵を設けたことによって植物の背丈や種類数が徐々に回復していることをデータをもとにお話いただき、またそれともなって昆虫やクモ類、鳥類も戻ってくるきざしがあるというお話もありました。

後半は、環境省釧路自然環境事務所が2018年から行っているエゾシカの生息状況調査について、春国岱で発信器をつけたエゾシカが、積雪や狩猟を避けて落石岬などとの間を行き来している様子などが紹介され、エゾシカ捕獲の必要性についてもお話がありました。

当日は23名の方にご参加いただきました。



【参加者のご感想】

—様々な食害の影響が出ているデータをまのあたりにして知ったからには何か行動したいと思いました。

—鹿が増えた原因は人間などで、人間たちがきちんと考え対応していくことが大切だ。

●ご紹介のあった論文（主なもの）

外山ほか、2022、根室市歴史と自然の資料館紀要 34:17-30.

山岸ほか、2017、Strix33:51-63.

春国岱クイズ

2月14日はバレンタイン、3月14日はホワイトデーですね。大切な人に想いを伝える人も多いのではないのでしょうか。多くの鳥たちの本格的な恋の季節はこれからですが、春国岱周辺では1月からヒガラのさえずりが聞こえ始めています。鳥の中には、オスがメスに食べ物をプレゼントする求愛給餌という行動をする種類がありますが、カケスの求愛給餌について正しいものは次のうちどれでしょう？

- ① おいしくないものをプレゼントする
- ② メスを観察してメスのほしい食べ物をプレゼントする
- ③ 食べきれない量の食べ物を山盛りプレゼントする



写真 カケス（ミヤマカケス）はハトサイズの鳥。きれいな体色をしています、カラスの仲間です。

★イベント情報★

◆3/5 フィールド講座「ラムサール条約湿地から見た世界」(室内講座)

今回のテーマは、世界のラムサール条約湿地について。スイスのラムサール条約事務局へ勤務されるなど、長年、ラムサール条約の変遷を見て来られた小林先生に、世界各地のラムサール条約湿地の保全活動についてお話をうかがいます。

◇日時：3月5日(日) 13:30～15:00

◇会場：根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

◇講師：小林聡史さん(釧路公立大学名誉教授)

◇対象者：中学生～大人(定員：20名、要申込み) ◇参加費：無料 ◇持ち物：筆記用具

◇申込み方法：電話、メールまたは直接来館により、必要事項(参加ご希望の方のお名前、ご連絡先)を春国岱ネイチャーセンターへ。電話：0153-25-3047 メール：nemu_nc@marimo.ne.jp 〆切：3月3日(金)午後4時

参加申込受付中!



◆開催中! ～2/16まで

野鳥図鑑画家 谷口高司 作品展 2023 in 根室 『命輝く、北の野鳥たち』

野鳥図鑑画家、谷口高司氏の作品展です。展示している21点の作品のうち、なんと14点は新作! ぜひご覧ください。ネイチャーセンターには、谷口先生のサイン本の販売もご用意しています。

◇開催期間：～2月16日(木) 9:00～16:30 ※毎週水曜日と2/13は休館日

◇場所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター2階

◆2/4～3/2 んむろの野鳥イラストコンテスト2023 作品展

ねむろバードランドフェスティバル2023で開催された「ねむろの野鳥イラストコンテスト」では、根室市、別海町、浜中町の小学校・中学校の児童生徒のみなさんから、全424点、77種の野鳥のイラストが応募されました。身近な野鳥からマニアックな野鳥、緻密なものからダイナミックなものまで、力作が勢ぞろい!

◇開催期間：2月4日(土)～3月2日(木) 9:00～16:30

※毎週水曜日と2/13・20・21・24は休館日

◇場所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター2階



募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3火曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。またマダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



クイズのこたえ 答 ②。Ljerka Ostojićらの研究で、オスがメスの行動を見えるようにした場合、カケスのオスはメスが欲しい食べ物をプレゼントしたという論文があります。【参考文献】植田睦之.2013.野鳥の不思議解明最前線#89.バードリサーチ.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570

Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：(開館時間 9:00～16:30)

2月1・8・13・15・20・21・22・24日 3月1・8・15・22・29日

◆団体でご利用の方へ(事前予約制)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録